

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間想定や車椅子想定 of 訓練も含めて年3回の避難訓練を実施しているが、地域との協力体制が不十分。	想定を超える緊急時に備え、避難場所の確認や地域との協力体制、大雨・津波に対する訓練の見直しをしていく。	地域との協力体制を強化していく為、民生委員に協力・情報提供をいただき、地域との話し合いを行ない、関係を密にしていく。防災頭巾の各居室配備。	6ヶ月
2	2	地域との交流は、地域の祭りに参加したり、公民館との繋がりもできるなど徐々に広がりつつあるがまだまだ十分とは言えない。	民生委員などに協力や情報提供を頂き、町内会への参加を目指し、地域の一員として交流出来る様、つながりを増やしていく。	GHみどりの情報誌を地域に回覧し、また、喫茶の日を設け近隣の方々に遊びに来て頂くなどして、存在をより身近に感じてもらえるようにする。	6ヶ月
3	1	法人とGHの理念を共有し合い職員一人一人が利用者の立場に立ち日々のサービス提供場面を理念に照らし合わせながら実践し、ケアにつなげる努力は見られるが、結果がまだまだ不十分。	職員間で理念の共有をより深め、最善の実践を目指す為に「ホームのあるべき姿」を再構築する。	職員間で「ホームのあるべき姿」を思い描き、充足項目、不足項目を挙げていき、現状の課題を明らかにし、よりよいGHを目指して改善していく。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。